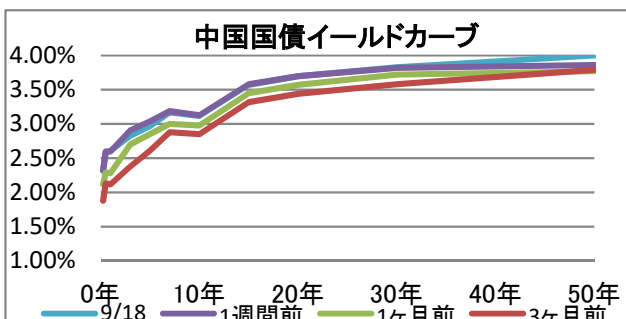
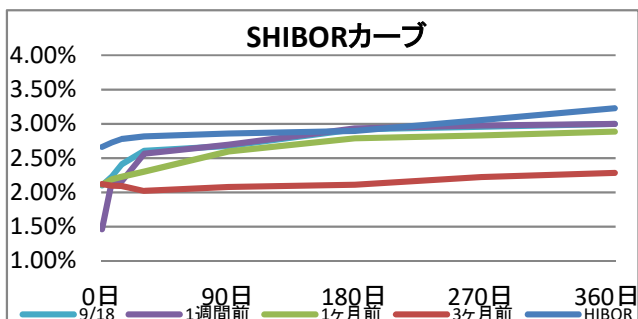


## ①市場概況

基準レート		2020/9/18	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.7591	-0.0798
	JPY/CNY	6.4521	0.0096
SHIBOR	3M	2.6790%	-0.0180%
国債利回り	10年	3.12%	-0.01%
上海総合指数		3,274.30	+13.95



### (1) 概況

米FOMCが市場予想の範囲内の結果となる一方、米国の中国ハイテク企業に対する規制強化や新型コロナウイルスの感染大が懸念される状況となり、先行き不透明感から金融市場が世界的に小動きとなる中、順調な経済回復を映して中国金融市場は株式、債券とも小動きながら堅調に推移し、外為市場では人民元高となっている。

FTSEラッセルの世界国債インデックスの年次レビュー結果報告(9/24)における中国国債の組み入れ実現への期待が一段と高まっている。

### (2) 金融調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日6,200億元、MLF期日2,000億元、中央国庫現金管理商業銀行定期預金期日500億元の計8,700億元に対し、新規リバースオペ4,800億元、MLF6,000億元の計10,800億元を実施し、差し引き2,100億元を供給している。債券増発に応じて長めの資金供給を増加させている。

### (3) 主な経済指標

- ・鉱工業生産(8月)は、前年比+5.6%(7月同+4.8%)と、5ヶ月連続かつ市場予想を上回るプラスとなり、全地域、全業態での回復が確認できる内容となっている。特に、インフラ関係や工業用ロボット等の伸びが目立つ。
- ・小売売上高(8月)は、前年比+0.5%(7月同-1.1%)と、市場の予想を上回る本年初のプラスとなった。商品販売が通信機器や自動車等を主にプラス幅を拡大し、不振だった外食もマイナス幅を縮小している。
- ・固定資産投資(1-8月)は、前年比-0.3%(1-7月-1.6%)に一段とマイナス幅を縮小している。公共投資主体の状況に変化はないものの、民間企業でもマイナス幅が大幅に縮小している。

## ②資金市場

### (1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.1010%	2.2000%	2.5000%	
1W	2.2330%	2.3000%	3.0000%	2.2000%
2W	2.4110%	2.9000%	2.4800%	2.2000%
1M	2.6090%	2.6090%	3.0000%	2.7300%
3M	2.6790%	4.3000%	3.3000%	2.6800%
6M	2.9190%	3.2000%		2.9500%
9M	2.9600%	3.6000%		2.9950%
12M	3.0000%			3.0000%

中国人民銀行がMLFにより長めの資金供給を増加させているものの、四半期末の資金供給はタイトな状況となりつつあり、金利水準は高止まり状態が続いている。ただし、市場参加者の中国人民銀行による資金供給に対する安心感もあって、資金を取り急ぐ向きは少なく、落ち着いた状況が続いている。ターム物の出合いは1ヶ月(四半期末越え)が2.70-2.80%で取引されている他は限定的。

NCDは、中国人民銀行のMLF実施後に買いが活発化して金利水準が低下に転じており、ターム物の金利水準は1ヶ月2.70%前後、3ヶ月2.60%前後、6ヶ月2.95%前後、1年3.00%前後に低下している。

### (2) 米ドル資金(本土内)

	BID	OFFER
ON	0.02%	0.03%
1W	0.05%	0.06%
1M	0.15%	0.16%
3M	0.30%	0.35%
6M	0.60%	0.65%
12M	0.85%	0.90%

ドル資金需給は引き続き安定しており、四半期末の9月末を超える1ヶ月ものも0.15-18%で取引され、年末越えの3ヶ月が0.30%、6ヶ月も0.65%前後で取り気配となっているものの調達を急ぐ様子は見られない。

### ③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	2.32%	2.36%	2.60%	2.75%	3.06%
6M	2.58%	2.68%	3.04%	3.07%	3.37%
1Y	2.61%	2.77%	3.05%	3.20%	3.49%
3Y	2.83%	3.13%	3.42%	3.69%	4.05%
5Y	2.97%	3.28%	3.64%	3.97%	4.62%
10Y	3.12%	3.61%	3.85%	4.19%	4.95%

債券市場では、四半期末を控えて買いが活発化し難い状況ながら、MLFが大幅に増額されたこと（金利水準は据え置き）やFTSEラッセルの国債インデックスへの採用期待も高まって利回りは低下に転じている。

イールドカーブは、MLF増額により利回り上昇に歯止めがかかったものの四半期末を控えて反応は鈍く、中期ゾーンの買い戻しは続いたものの、大きな変化は見られなかった。クレジットスプレッドも地方債利回りが上昇していることを除き、大きな変化はなかった。

### ④先物為替市場

	USD / CNY
1W	30.5 / 31.5
1M	166.0 / 167.0
3M	425.0 / 430.0
6M	820.0 / 828.0
9M	1160.0 / 1175.0
12M	1492.0 / 1500.0

対ドル基準レートは6.7591と前週末比-798pipsのドル安元高、対円基準レートは6.4521と同+96pipsの円高元安と、ドル安を映じた水準で設定されており、対ドルでは2019年5月以来となる元高水準となっている。市場取引においても、2019年4月末以来となる6.7501まで元高となっていたものの6.77台に戻して週末を迎えている。

先物は、人民元資金需給のひっ迫状況は続きながらも金利上昇は一服したが、国外からの投資資金流入が続いていることもあって底堅く、小幅ながら拡大している。

### ⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.35%		2.09%
6M	2.40%	2.82%	2.10%
9M	2.42%	2.82%	2.16%
1Y	2.44%	2.86%	2.18%
3Y	2.64%	3.17%	2.35%
5Y	2.80%	3.39%	
7Y	2.92%	3.54%	
10Y	3.06%	3.70%	

四半期末を控えて資金市場はタイトな状況が続いているものの、中国人民銀行の資金供給姿勢や国外からの資金流入が続いて債券利回りが低下に転じたこともあって、スワップ金利も低下に転じている。債券利回りとの金利差のスワップスプレッドは、四半期末を控えて債券利回りの低下が限定的となっていることから前週に続き縮小している。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。